

| | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 解 答 | 1 (C) | 2 (A) | 3 (C) | 4 (C) | 5 (D) | 6 (A) |
| | 7 (A) | 8 (C) | 9 (C) | 10 (C) | 11 (C) | 12 (A) |
| | 13 (B) | 14 (A) | 15 (B) | 16 (A) | 17 (D) | 18 (D) |
| | 19 (B) | 20 (B) | | | | |

- 「ウィルソン教授は彼の学生たちが試験で良い成績をとったのでご機嫌だった」
 - ▶ 南山英語の頻出論点である「almostとmostの使い分け」問題です。空欄のあとが、「one's(所有格) A」という形であることから(C)most ofが正解になります。
 - ▶ (B)almostと(D)at mostは副詞なので名詞であるhis studentを修飾できません。また、(A)most(大多数の、たいていの)は形容詞ですが、定冠詞theや所有格で限定されたものを修飾できません。
- 「象牙の販売を禁止する法律がなければ、アフリカ象は間もなく絶滅するだろう」
 - ▶ 選択肢には「(無)冠詞 + sale(販売)」の形が多く並んでいるので、冠詞のはたらきに注意しながら解いていきましょう。
 - ▶ 本問では、「of ivory(象牙の)」という形容詞句で修飾された特定の販売行為を指しているので(A)the saleが正解になります。
- 「ゼルダが彼女の誕生日パーティーにブラッドを招待したことは驚きではなかった。結局は、彼も彼女を自分のパーティーにちゃんと招待した」
 - ▶ 選択肢には動詞surpriseの様々な形が並んでいます。このような「動詞の形」パターンでは空欄前後の要素から、動詞の形を決定する方針で解きます。
 - ▶ 本問では空欄の語がnoという形容詞で修飾されていることから、名詞である(C)surprise(驚き)が正解になります。なお、noではなく副詞notならば形容詞である(A)surprising(驚くべき)が正解になります。
- 「天気予報によると、今日雪が降る可能性はおよそ90%です」
 - ▶ 選択肢には動詞snow(雪が降る)の様々な形が並んでいます。直前が前置詞ofであることから、空欄には名詞相当語句である(C)it snowing(動名詞)が入ると推測できます。なお、このitは「天候のit」で動名詞snowingの意味上の主語になります。

■動名詞の意味上の主語

(1) 意味上の主語が代名詞

意味上の主語が代名詞の場合、目的格か所有格を動名詞の直前に置く

My father doesn't like **me**[**my**] **wearing** short skirts.

(父は私がミニスカートをはくのが好きではない)

(2) 意味上の主語が名詞

意味上の主語が名詞の場合、そのままの形か、あるいは所有格を動名詞の前に置く

He is anxious about **Lucy**('s) **staying** home alone.

(彼はルーシーが1人で家にいるのを心配している)

- 「私は心からティムを尊敬しています。学業成績が良い上に、優れた運動選手でもあるからです」
 - ▶ 選択肢には(C)Not only(形容詞)を除き、語句をつなぐ働きをする接続詞や前置詞が並んでいます。空欄のあとがbeing a good studentという動名詞句であることから、空欄には名詞をつなぐ働きをする前置詞[(B)Since「～以来」もしくは(D)In addition to「～である上に」]が入ると推測できます。あとは文脈から選んで(D)In addition toが正解となります。

□ **in addition to A** 「Aに加えて/Aである上に」 (=besides A)

▶ **in addition**は「さらに/その上に」という意味の副詞句です。

In addition to being a good teacher, she was a great scholar.

= She was a good teacher. *In addition*, she was a great scholar.

(彼女は良い教師であるばかりでなく、偉大な学者でもあった)

6. 「ほとんどの人々は、彼ら自身についての真実を怖くて聞くことができません」
- ▶ 選択肢に動詞hearを変化させた形が並ぶパターンです。be afraid **to do**で「～するのが恐ろしい」という意味になるので(A)to hearが正解になります。
- 形容詞afraidが動名詞につながる場合は前置詞ofを用いてbe afraid **of doing**(～することを恐れる)となるので、(B)for hearingや(C)having heardの形は不可です。
- be afraid of doing** 「～することを恐れる」 ※行為そのものに対する恐れ/懸念
I was afraid of talking to you. 「(普段から)君に話しかけるのが恐かった」
- be afraid to do** 「～するのが恐ろしい」 ※行為の結果に対する恐れ/懸念
I was afraid to talk to you. 「(その時)君に話しかけるのが恐かった」
7. 「その新刊は発売初日に1万部以上、翌週でさらに4万部が売れました」
- ▶ 本問で選択肢から読み取って欲しい論点は、①時制[現在or過去]、②態[受動態or能動態]、③主語の単複[単数or複数]です。
- ▶ copyは「(本・新聞などの)1部」という意味です。他動詞soldの目的語となるべき more than 10,000 **copies** of the new bookが主語の位置に来ているので、態は受動態と推測できます。また、主語である**copies**が複数形なので、be動詞は複数と推測でき、in the following week(その翌週に)という時を表す副詞句から、前節の時制は過去と推測できます。以上から正解は(A)were sold[過去・受動態・複数]となります。
8. 「何時間もぬかるんだ道を車で走って来ました。この車は洗う必要があります」
- ▶ 選択肢に動詞washを変化させた形が並ぶ「動詞の形」パターンです。このパターンでは空欄前後の要素から、動詞の形を決定します。
- ▶ 本問では動詞needの語法を思い出せるかがポイントになります。needは目的語に動名詞をとる時と、不定詞をとる時で意味が異なります。
- need doing** 「～される必要がある」 (=need to be done) [受動]
□**need to do** 「～する必要がある」 [能動]
- 文脈から、主語である「This car」はwash「される側」なので、受動的な意味となる(C)washingが正解となります。
9. 「たびたび雨に見舞われたが、クリスティーンとマイケルは休暇を満喫した」
- ▶ 選択肢は前置詞(句)[(A)despite,(D)in spite of]と接続詞[(B)in case,(C)even though]で構成されています。空欄の語は、後続する it rained oftenという節を主節につなぐ働きをしているので接続詞であると推測できます。
- ▶ 後続する節内では、it **rained** oftenと過去形となっているので、条件を表す副詞節を導く(B)in case(～の場合に備えて)は文法的に適合しません。よって、文意にも適合する(C)even though(～ではあるが)が正解になります。
10. 「僕が君だったら、宿題を始めるけどなあ」
- ▶ 選択肢が全て助動詞のパターンです。後半のif I were youが仮定法過去の条件節になっているので、空欄に入る可能性のある助動詞は(B)couldと(C)wouldの2つです。どちらが適切かは文脈から判断します。
- 実際に当てはめると「もし僕が君だったら、宿題を [(B)could「始めることができる」 (C)would「始める」] のだがなあ」となり、(C)wouldが適していると分かります。
11. 「新車を購入しようと計画しています。高い買い物なので、後悔しないことを願っています」
- ▶ 選択肢には「心配する」という意味の他動詞が多く並んでいます。選択肢に類義語が多い場合は、個々の動詞のもつ語法に注意しながら解いていきます。
- ▶ (A)worry「～を心配させる」は目的語に人をとります。空欄後のitは「新車を購入すること」ですから不適です。同様に(D)concernも「～を心配させる」という意味での目的語は人をとるので不適です。
- ▶ 残るは(B)care「～か心配する」と(C)regret「～を後悔する」ですが、新車の購入は「高い買い物 (It's very expensive)」であることから(C)regretが正解になります。

12. 「ラジブ、ジョンソンさんから電話よ。私のオフィスで受けたらいいわ」

- 選択肢には中学で習う基本動詞が並んでいます。空欄後のitを含めて「() it (=the phone call)」で「電話を取る(受ける)」という表現を作る選択肢を選びましょう。

take [get, pick up] **the phone** 「電話を取る」

正解は(A)takeになります。

13. 「図書館が美術館に改築されるということを、私はたった今聞いたところだ」

- 選択肢には動詞が並んでいます。すべて他動詞で、意味は(A)replace「~取り替える」、(B)convert「~を変える」、(C)reform「~を改善する」、(D)create「~を創造する」です。意味が近いので、語法に着目してみましょう。
- 受動態の問題は、能動態に直して考えると理解しやすくなります。問題文のthat節内を能動態に直して考えてみましょう。すると、以下のようになります。

[能動態] (They) are going to **the library into an art gallery** .
 目的語① 目的語②

ここから、空欄に入る語は「SVO₁ **into** O₂」という語法をもつ動詞だと分かります。選択肢の中でこのような語法をもつものは(B)convertのみで、convert A into [to] Bで「AをBに変える、転換する」という意味なので文意にも適合します。

convert A into [to] B 「AをBに変える、転換する」

replace A with B 「AをBと取り替える」

14. 「プリシラはピアノ独演会であまりに多くのミスをしました。彼女は何か気になっていることがあるんじゃないかしら」

- 選択肢は「前置詞+her mind」の形になっていますが、前置詞パターンの問題と考えてよいでしょう。前置詞を選ばせる問題では、①熟語やイディオムを構成する前置詞を問われている場合と、②文脈に合う意味をもつ前置詞を問われている場合があります。
- have something **on** one's mindで「Aが～の頭から離れない、気にしている」という意味になりますので、(A)on her mindが正解になります。

15. 「レジーは3週間前に書棚を注文しましたが、まだ届いていません」

- 和訳先行で最適な選択肢を選ぼうとすると迷ってしまうパターンです。本問では空欄に入る動詞の目的語がないことに着目して、自動詞の中から文脈にあったものを選ぶ方針で解きます。

[他動詞/自動詞の分類]

(A) **deliver** 「～を配達する」 ⇒他動詞 (B) **arrive** 「到着する」 ⇒ **自動詞**

(C) **receive** 「～を受け取る」 ⇒他動詞 (D) **obtain** 「～を獲得する」 ⇒他動詞

自動詞は(B)arrive「到着する」のみです。arriveには「(品物・手紙などが)届く、配達される」という意味もあるのでこれが正解になります。

have yet to do 「まだ～していない、これから～しなければならない」

I have yet to meet a husband who is perfect.

(完璧な夫なんかにまだ出会ったことがありません)

16. 「ジャックはクモ恐怖症だよ。これっぽちも我慢できないんだ」

- 選択肢には「恐怖」の意味をもつ名詞ばかり並んでいます。類義語が多い場合は語法から攻めてみるのが定石です。

問題文を見ると、Jack **has a** () **of** spiders. となっています。すべての選択肢に「恐怖」の意味がありますが、have a **恐怖** **of** Aの形で「Aに対する恐怖心がある」という語法をもつものは(A)fearのみで、これが正解になります。

17. 「マスターズさん、この鍵でお部屋に入るのは無理かと危惧しております。錠に合っていないように思われます」

- 直後に前置詞(into)がきているので、空欄には自動詞が入ると推測できますが、すべての選択肢に自動詞の用法が存在するため、解答をしぼれません。そこで、

seem to(～のように思える)を省略し、問題文を単純化して考えてみます。

[**seem to**を省略して単純化]

It (=this key) doesn't () **into** this lock. 「この鍵はこの錠前に()しない」

- ▶ 第1文で「この鍵では部屋に入れない」と述べているので、鍵に問題があることが分かります。第一に考えられる問題は鍵の不適合です。選択肢の中から(D)fitを選び、This key doesn't **fit into** this lock.とすれば、「この鍵はこの錠前に適合していない」という意味となりますので、これが正解になります。

□ **fit into A** 「(大きさや形が)Aに合う、収まる、適合する」

They fit perfectly *into* life in the country.

(彼らは田舎の生活にすっかり溶け込んでいる)

18. 「イースタン・バーー大学は8つの学部で構成されています」

- ▶ あとが前置詞ofになっていることから、空欄には自動詞が入ると推測できますので、まずは選択肢を他動詞と自動詞に分類しましょう。

[他動詞/自動詞の分類]

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| (A) contain 「～を含む」 ⇒他動詞 | (B) combine 「～を結合させる」 ⇒他動詞 |
| (C) compose 「～を構成する」 ⇒他動詞 | (D) consist of ~「～から成り立つ」 ⇒自動詞 |

選択肢の中で自動詞は(D)consistsのみです。文意からも適合するので、これが正解になります。

□ **consist of** ~「～から成り立つ」 (=be made up of/be composed of)

This apartment *consists of* five rooms.

(このアパートは5つの部屋から成っている)

cf. **consist in** ~「～にある」

Happiness *consists in* contentment.

(幸福は満足にある)

19. 「鮮やかな色彩の花は蜜蜂の注意を引くだろう」

- ▶ 選択肢には様々な意味をもつ動詞が並び、その全てが他動詞です。本問は、コロケーションの問題で、目的語「the **attention** of bees(蜜蜂の注意)」に対して、自然なつながりをもつ単語を選ぶ方針で解きます。
- ▶ 「～の注意を引く」という場合、名詞attention(注意)は動詞attractやcatchと結びつき「**attract**[draw, catch] one's **attention**」という表現をするので、本問では(B)attractが正解となります。

□ **attract[draw, catch] one's attention** 「～の注意を引く」

Her ring *attracted[caught]* his attention.

(彼女の指輪が彼の注意を引いた)

cf. **pay attention to** ~「～に注意を払う」 (=take notice of ~)

20. 「吉田教授は国際政治に新しい洞察を与える論文を執筆した」

- ▶ 第15問と同様に、和訳先行で最適な選択肢を選ぼうとすると迷ってしまうパターンになります。本問では空欄直後の前置詞intoに着目して、これにつながる語法をもつ名詞がないか?という観点で解いていきます。
- ▶ 選択肢の語を用いて句を作る場合、以下のような前置詞とつながります。

- | |
|--|
| (A)understanding(理解)——of, about, on, with, between |
| (B)insight(洞察)—— into , about |
| (C)appearance(外見、様子)——of |
| (D)theory(理論、学説)——of, about, on |

- ▶ 選択肢の中で、前置詞intoにつながる語法をもつものは(B)insight(洞察)のみです。文意も合うのでこれが正解になります。このintoは関連を表し、「(調査などの対象)を/～について(about)」という意味になります。

[例] research **into** the language of dolphins 「イルカの言葉の研究」